



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.96
2018年 7月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sa.jinfo@schoolaidjapan.or.jp

レモングラス畑の拡がい

皆さんこんにちは。こちらカンボジアでは国の選挙が行われました。選挙日を含む2日間は休日になり、選挙日前後は地元に戻る人も多く、選挙を応援するため仕事を休む人もいます。農場ではレモングラスの収穫が最盛期を迎え、9月稲作の準備などが始まりました。今月は農場の作業の様子と新しい契約生産者さんの紹介をしたいと思います。



看板を取り換える様子

◇看板修理

SAJ Farmの看板が古くなり破れがひどくなってきたため看板の修繕、交換作業を行いました。看板は強い太陽の光や雨風に直接あたるため、3年ほどでもろく破れやすくなってしまいます。そのため定期的に看板の表面を張り替える必要があります。看板は高いところに設置してあるため、足場を組んでから取り外し作業を行います。縦2m横3mの看板を外し、破れた看板表面を剥がしたあとポンペンで注文していた新しく印刷された表面を被せます。テープで表面を留めて金具で表面を固定したら看板をもとに戻し修理完了です。



今年蒔いた籾

◇田植えの準備

7月水田に籾を蒔き、今年の田植えの準備に取り掛かりました。前日に籾を水甕に入れ、籾に水が十分にき渡るように一晩水に漬けておきます。そして育苗場所になる水田の一番水の溜まりやすい場所の周囲を紐で囲います。紐で囲んだ場所に籾を撒き、なるべく籾が密集するようにします。籾を密集させるのはお互いに発芽を助け合う性質があることに加え、苗を引き抜くときに苗を密集させた方が効率が良いためです。籾は約10aの水田を田植えするのに約5kg必要になります。今年は7枚の水田約130aの水田で田植えを行う予定なので65kgの籾を使用しました。籾を撒いて約1か月後から田植えが始まります。



契約農家さんの畑に定植する様子



新契約生産者のピエンさん



オクラの花と実

◇講習会、新契約農家さん

7月の講習会は6月に引き続き3件の新しい契約農家さんの畑でレモングラスの定植を行いました。最初はピエンさんの畑にレモングラスを定植しました。ピエンさんは農場スタッフのチャンダーさんの家から500m離れた場所に住んでおり、チャンダーさんの家のご近所さんです。ピエンさんには現在旦那さんがおらず、子供たちがプノンペンで働きその仕送りで生活しています。レモングラスの栽培で生活が少しでも楽になればと思い、レモングラスの契約栽培に加わられました。2人目はソンさん、SAJFarmで最近新しく働き始めた方です。レモングラスの栽培が比較的簡単なので、少しでもお金を稼ぎたいためレモングラスの契約栽培を始められました。3人目はコンさん、この方もソンさんと同じく新しくSAJFarmで働き始めたスタッフさんです。余っている畑があるので、他の野菜を作るよりレモングラスを作るほうが簡単のため、レモングラスの契約栽培を始めることになりました。レモングラスの契約栽培が始まって3年目。最近契約農家さんのところを訪れると、近隣の方から自分の家にあるレモングラスを買ってくれないかという話や、自分も契約農家になりたいからレモングラスを植えて欲しいという話を聞くようになりました。レモングラスの栽培が徐々に地域の中で広まっていることを実感するようになりました。産業のない貧しいこの地域にレモングラスの一大生産地を作れるよう、このレモングラスの繋がりを大切に広めてゆきたいと思います。

◇オクラ出荷開始

先月定植したオクラの花が咲き、実を付け始めました。オクラの出荷がついに開始しました。オクラの実写真は写真のようにヘタを下に向けて成長します。そのため出荷する時はオクラのヘタを下向きにして揃えて袋に入れます。自然のままの形の方がオクラにとってストレスがかからず傷みに少なくなります。またオクラを入れる袋もSAJでは日本から持ってきたFGという袋を使っています。この袋には小さな穴が開いている為、オクラが袋の中で呼吸ができ、袋が曇らず見た目も良くなります。このようにSAJではオクラが良好な状態を保てるよう心掛けています。カンボジアでSAJのオクラを見かけられたら是非一度ご賞味下さい。